

表 - 1 行政区別交通事故発生件数, 死者数及び負傷者数

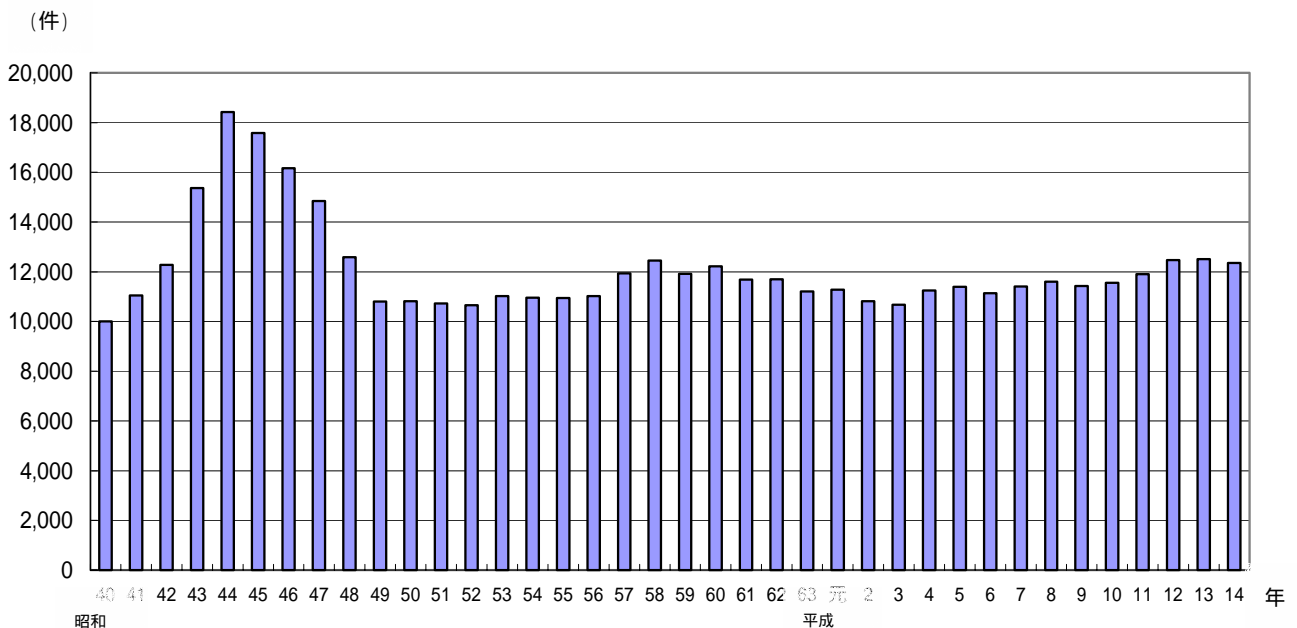
(単位 %)

平成14年

行政区	発生件数 (件)			死者数 (人)			負傷者数 (人)		
	実数	構成比	対前年増加率	実数	構成比	対前年増加率	実数	構成比	対前年増加率
京都市	12,358	100.0	1.2	58	100.0	15.9	14,948	100.0	2.0
北 区	778	6.3	2.9	3	5.2	50.0	917	6.1	4.2
上京区	572	4.6	10.4	2	3.4	33.3	674	4.5	9.8
左京区	1,015	8.2	4.1	4	6.9	55.6	1,204	8.1	6.7
中京区	952	7.7	4.9	4	6.9	0.0	1,096	7.3	5.1
東山区	484	3.9	10.4	5	8.6	16.7	601	4.0	15.6
山科区	1,214	9.8	0.5	1	1.7	80.0	1,558	10.4	0.8
下京区	1,039	8.4	2.1	4	6.9	33.3	1,243	8.3	2.2
南 区	1,429	11.6	1.9	13	22.4	116.7	1,748	11.7	3.3
右京区	1,296	10.5	4.8	7	12.1	12.5	1,507	10.1	1.9
西京区	1,077	8.7	1.3	5	8.6	66.7	1,278	8.5	3.3
伏見区	2,502	20.2	2.5	10	17.2	23.1	3,122	20.9	0.7

資料：文化市民局市民生活部地域振興課「京都市の交通事故」

図 - 1 交通事故発生件数の推移



## 京都市内の交通事故（平成14年）

### 1 概況

平成14年の京都市内の交通事故(人身事故のみで名神高速道路の事故を含む。)は12,358件で、前年に比べて146件減少し、対前年増加率は1.2%減で減少に転じています。行政区別で見ますと、伏見区が2,502件(構成比20.2%)と最も多く、南区の1,429件(同11.6%)、右京区の1,296件(同10.5%)と続いています。対前年増加率をみますと、上京区が10.4%増、右京区が4.8%増、北区が2.9%増と3行政区で増加しています。減少しているのは、東山区の10.4%減、中京区の4.9%減、左京区の4.1%減など8行政区となっています。

交通事故による死者数は58人で、前年に比べて11人減少し15.9%減となっています。行政区別で見ますと、南区が13人で最も多く、逆に、山科区が1人と最も少なくなっています。

次に、負傷者数は14,948人となり、前年に比べて298人(対前年増加率2.0%減)の減少となっています。行政区別に対前年増加率で見ますと、上京区が9.8%増、北区が4.2%増、右京区が1.9%増と3行政区で増加しています。一方、減少しているのは、東山区の15.6%減、左京区の6.7%減、中京区の5.1%減など8行政区となっています。

### 2 人口1,000人当たりの交通事故発生件数

京都市全体の人口1,000人当たりの発生件数は8.4件で、これを行政区別にみますと、南区が14.6件で最も多く、次いで下京区14.3件、東山区11.2件と3区で10件を上回っています。最も少ないのは左京区の5.9件で、以下、北区の6.2件、右京区6.6件、上京区6.8件、西京区6.9件、伏見区8.7件、山科区8.8件、中京区9.8件となっています。

### 3 年齢別死者数・負傷者数

平成14年の年齢別負傷者数をみますと、20~29歳が4,624人(構成比30.9%)で最も多く、特に20~24歳は2,608人と全体の17.4%を占めています。次いで30~39歳で2,493人(同16.7%)、50~59歳で2,094人(同14.0%)となっています。

高齢者(65歳以上)をみますと、負傷者は1,222人、構成比8.2%となっていますが、死者は20人、構成比34.5%と死者の割合が高くなっています。高齢者の被害状況の年別推移をみますと、死者は前年と比べて1人減少し、負傷者は前年と比べて59人増え、8年連続の増加となっています。

表 - 2 年齢別死者数・負傷者数

(単位：人) 平成14年

年齢	死者	構成比	負傷者	構成比
総数	58	100.0	14,948	100.0
15歳以下	2	3.4	844	5.6
16～19歳	6	10.3	1,347	9.0
20～24歳	4	6.9	2,608	17.4
25～29歳	4	6.9	2,016	13.5
30～39歳	8	13.8	2,493	16.7
40～49歳	5	8.6	1,585	10.6
50～59歳	5	8.6	2,094	14.0
60～64歳	4	6.9	739	4.9
65～69歳	3	5.2	557	3.7
70歳以上	17	29.3	665	4.4

表 - 3 高齢者(65歳以上)、被害状況の年別推移

(単位：人)

年	死者	負傷者
5年	17	895
6年	25	842
7年	24	852
8年	24	923
9年	20	933
10年	24	952
11年	21	1,003
12年	24	1,146
13年	21	1,163
14年	20	1,222